

施策評価シート【分野別施策】

施策名			関係部				
2-④	高齢者福祉を推進する		福祉部				
所管事業に関連する成果指標							
指標名	単位	計画 策定時	実績値				目標値 31 年度
			27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	
健康チャレンジリーダー養成者数（累計）	人	—	18	44			100
認知症サポーター養成者数（累計）	人	10, 252	12, 407	14, 516			13, 800
関連事業							
○老人クラブ支援事業○介護老人福祉施設整備費等助成事業○介護予防・生活支援サービス事業○一般介護予防事業○包括的支援事業							
決算額							
	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度			
事業費（千円）	612, 573						
執行率（％）	85. 45						
施策の推進に向けた主な取組の「成果」							
●単位老人クラブへの活動支援を行い、高齢者自らが健康を保つための外出の機会を創出することに加え、通いの場（サロン）の開催を支援しました。また、平塚市老人クラブ連合会事業である趣味の作品展のイベントを市役所多目的スペースで開催し活動紹介や会員募集などのPRを行うとともに、福祉大会やグラウンドゴルフ大会等の開催を支援しました。 ●特別養護老人ホームの施設整備について、新設分として2施設200床の工事が着手され、増床分として1施設20床の整備を完了しました。 ●新総合事業の介護予防・生活支援サービス事業を実施し、より利用者の身体の状態に合った多様なサービスを提供しました。 ●健康チャレンジリーダー養成講座や健康教室等を開催し、高齢者が介護予防の知識を身につけることで、介護予防活動の普及啓発を図りました。 【健康教室開催：35回、参加者数：659人】 【健康チャレンジリーダー養成者数 26人】 ●認知症サポーターのフォローアップ研修として、地域での活動を視野に入れた認知症サポーター上級者研修を各地域包括支援センターで開催しました。また、認知症施策の推進のため、認知症地域支援推進員を各地域包括支援センターへ1名ずつ配置しました。さらに、それぞれの地域で各種団体と連携を取りながら課題解決を図る地域ケア会議を開催しました。 【認知症サポーター上級者研修受講者：141人】 【地域ケア会議：101回】							

施策を推進する上での「課題」	課題解決を図るための「取組方針」
●老人クラブ（ゆめクラブ）のクラブ数、会員数ともに減少しているため、魅力あるゆめクラブのあり方を検討するとともに、活動内容が広く市民に理解されるよう、継続的な PR が必要です。 ●特別養護老人ホーム等への入所待機者を解消することが求められます。 ●高齢者の介護予防を促進する必要があります。 ●より身近になった日常生活圏域で高齢者一人一人に適した支援を行うことが必要です。 ●高齢者の増加に伴い、医療と介護の連携がますます重要となっています。	●地域で活躍する場を確保するため、若い年代（60 代）の会員を増加できるよう、クラブのあり方の見直しを行います。 ●今後の高齢者人口の動態を踏まえた施設整備や生活支援事業や在宅介護サービスの充実などにより、総合的に入所待機者の解消を図ります。 ●新総合事業の利用者が増加するよう、より利用者の身体の状態に合った多様な担い手による多様なサービスを展開します。 健康チャレンジリーダーの養成を進め、地域の通いの場(サロン)での介護予防活動が、さらに充実するよう努めます。 ●13 か所に増設した地域包括支援センターが地域の情報収集に取り組み、介護保険サービスなどの公的サービスだけでなく身近な地域のボランティア団体などのサービスも受けられるよう、圏域の利用者のニーズに合った支援を展開します。 ●在宅医療介護連携推進協議会を開催し、医療と介護の連携のあり方を協議するとともに、在宅医療・介護連携支援センターを設置し、医療と介護の多職種間の連携を推進します。